式辞

暖冬に慣れた身には堪える寒さでありますが、空からの柔らかい光に、確かな春の訪れを感じるこの佳き日に、ご多用の中、

ＰＴＡ会長小林輝之様、

同窓会会長大和久米登様、

保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに令和五年度、第七六回卒業証書授与式を挙行できますことは、卒業生はもちろん、在校生、教職員一同、大きな喜びであり、心よりお礼申し上げます。

ただいま、卒業証書を授与いたしました一二九名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

今日の日を迎え、三国高校での生活の様々な思い出が甦ってきているのではないかと思います。また、この日まで、お子様の勉学を支え、励ましてこられた保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。

令和元年末に突如現れた新型コロナウィルス感染症は、皆さんの中学・高校での生活に影響を与え続けましたが、今年度５月に感染症法上の扱いが５類相当となり、ようやく落ち着き始めました。とは言え、それまで皆さんは様々な困難や制約の中でもできることを精一杯実行し、制約がなくなってからは日々の学習や部活動、学校行事において、それまでを挽回するかのように全力で取り組んでくれました。

おかげで六月、県内各地で繰り広げられた春季高等学校総合体育大会では、運動部の皆さんがこれまでの練習の成果を存分に発揮してくれました。野球部の皆さんが夏の福井県大会で念願の一勝を挙げてくれた時は本当にうれしかった。また、文化部の活動では、練習や作品制作を経て各種大会

やコンクール・コンテストへ参加してくれました。作品展示や演奏会、パフォーマンス披露など地域との交流を熱心に行っていたことが印象的でした。

そして学校祭。テーマは「Ｐｏｐｃｏｒｎ(ポップコーン)」。みなさんの　思いっ切り弾けようという思いが詰まったテーマの下、皆さんの飛び跳ねるような躍動がとても印象的でした。一日目、三国町体育館を会場としたステージ発表はどれもすばらしく、見応えのある発表でした。午後の校内祭では、学校の体育館を利用したステージパフォーマンス部門、文化部展示、執行部企画と、短期間での準備にもかかわらず内容の濃いものでした。久々に聴いた合唱の歌声はぞくぞくするものがありました。二日目の体育祭。競技はもとより、鮮やかな衣装を身にまとった応援合戦や各色の特徴を活かしたデコ。全力で競い合い、終わって互いをたたえ合う姿がとても印象的でした。感動をありがとう。

さて、三国高校は「地域とともにある学校」として、地域活性化のための探究学習を、地域の人々と協働して進めています。

一年生の総合的な探究の時間に取り組んだ「空き家活用プロジェクト」。空き家の効果的な利用法として「イベント」を企画・発表・実行し、三国にふさわしいまちづくりについて考察しました。

貝殻を使ったクラフト体験ができる『MARINE CRAFT』、三国の魅力を再発見できる『空き家×脱出ゲーム』、お勧めの町並みを紹介する『FILM～写真展～』、射的と地域のお勧めを組み合わせた『射的ング～狙われた映え写真を打て！～』。地域の方の協力の下、工夫を凝らし、ふるさとの未来に必要なことや、自分たちにできることを考え活動していました。

二年生では、一年生での学習を発展させ、地域が抱える課題とその解決策について坂井市役所の助言をもらいながら、課題解決に向けた探究学習を進めました。各グループのアイデアは、「三高

地域魅力化プロジェクト発表会」において、坂井市議会議員を始めとする地域の大人の方に向けてプレゼンテーションを行いました。

皆さんは、この三年間、日々の学習で幅広い知識と視点を身につけるとともに、探究学習をとおして「自分らしく」社会に貢献する経験を積み、行動する力をつけてきました。地域は学習の素材であり、「空き家」をはじめ皆さんが取り組んだ坂井市の課題は一地域にとどまらず日本全国、そして世界が抱える課題に通じています。

今、「人生百年時代」と言われるようになりました。今の高校生の二人に一人は百歳まで生きるというデータもあります。これまでのように、二十歳ごろまで教育を受け、六十歳前後まで働いて引退するという３ステージ型の人生ではなくなると考えられています。これまでは若いときに学んだ知識とスキルで一生働き続けることができたかもしれませんが、変化の激しいこれからは、社会人になってからも、再び学校に入って学び直したり、オンラインでリスキリングしたりすることが必要になってきます。

そんな時代だからこそ、皆さんが本校で身に付けた四つの力、「究める力」「挑む力」「結ぶ力」「愛する力」をこれからの長い人生で大いに発揮してくれることを期待しています。将来、社会の一員として地域を「愛し」、多くの人と縁を「結び」、課題に「挑み」、「究め」ていく。活躍している皆さんの姿を見ることが、送り出す私たちの願いです。

最後になりましたが、保護者の皆様には、様々なご苦労を乗り越えられ、本日を迎えられたことと思います。この三年間、本校の教育活動にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

本日、成長著しいお子様を保護者の皆様と一緒に送り出せますこと、教職員一同誇りに思っております。卒業生の皆さんの洋々たる前途が健やかに、そして幸多からんことを祈念し、式辞といたします。

令和六年三月一日

福井県立三国高等学校長　冨澤宏二